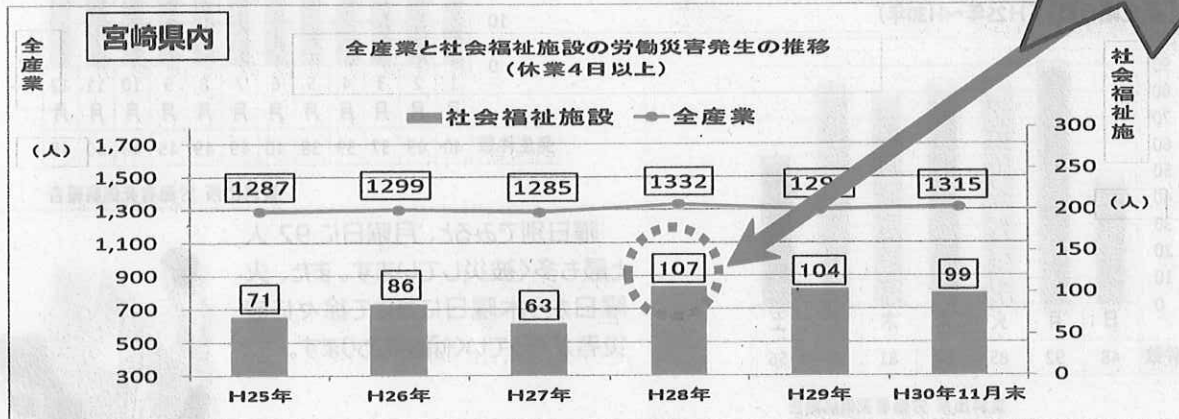


宮崎県内の社会福祉施設における労働災害発生状況 別添2

平成27年の約1.7倍
平成28年以降高止まり
で推移

1 社会福祉施設における死傷災害の推移

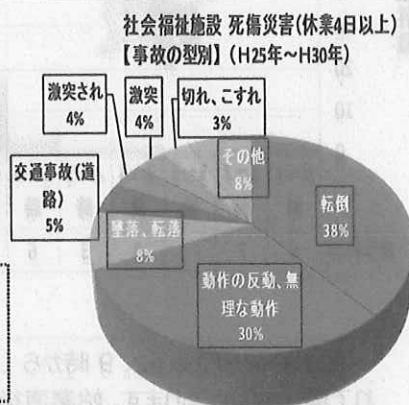


休業4日以上の死傷者数を長期的にみると、全産業は1,290人台で増減を繰り返し推移していますが、社会福祉施設は、平成28年に前年の約1.4倍に増加し、その後、高止まりで推移しています。さらに、本年7月には、施設内にある生垣を剪定した後の清掃作業中に擁壁から墜落するという死亡災害も発生し、休業4日以上の死傷者数も82人と、昨年と同様なペースで推移しています。

2 社会福祉施設における死傷災害の内容

(1) 事故の型別

社会福祉施設の事故の型別労働災害をみると、「転倒」が38%、腰痛などの「動作の反動・無理な動作」が30%と多くを占めており、転倒災害の発生件数は増加傾向にあります。

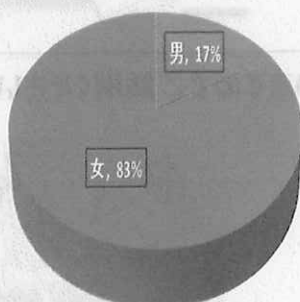


※「動作の反動・無理な動作」とは、重い物を持ち上げて腰をぎっくりさせたというように、身体の動き、不自然な姿勢、動作の反動などが起因して、すじをちがえる、くじく、ぎっくり腰及びこれに類似した状態になる場合を言います。

(2) 性別、経験年数、年齢別

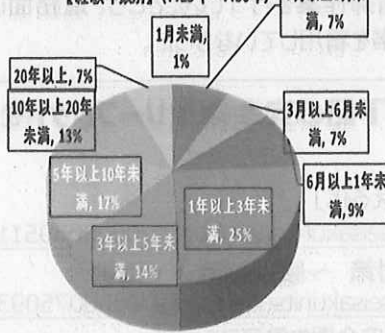
社会福祉施設では、女性労働者が被災する労働災害が全体の83%を占めています。また、経験の浅い3年未満の被災者が全体の49%を占め、また50才以上の被災者が全体の約半分を占めています。

社会福祉施設 死傷災害(休業4日以上) 【性別】(H25年~H30年)



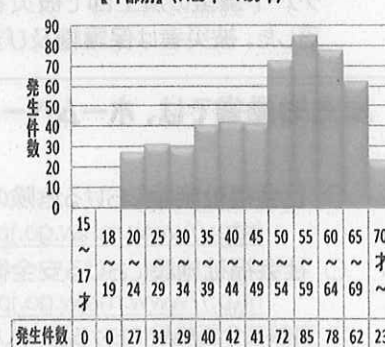
資料出所 労働者死傷病報告

社会福祉施設 死傷災害(休業4日以上) 【経験年数別】(H25年~H30年)



資料出所 労働者死傷病報告

社会福祉施設 死傷災害(休業4日以上) 【年齢別】(H25年~H30年)

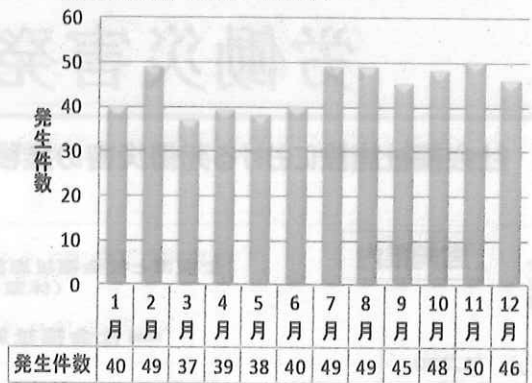


資料出所 労働者死傷病報告

(4) 月別

月別でみると、3月が最も少なく37人で、11月が、50人と最も多く発生しています。また、4半期ごとにもみると、10月から12月に被災者数が多いことが伺えます。

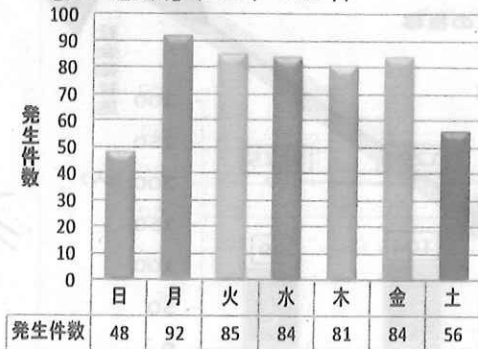
社会福祉施設 死傷災害(休業4日以上)
【発生月別】(H25~H30年)



資料出所 労働者死傷病報告

(5) 曜日別

社会福祉施設 死傷災害(休業4日以上)
【発生曜日別】(H25年~H30年)



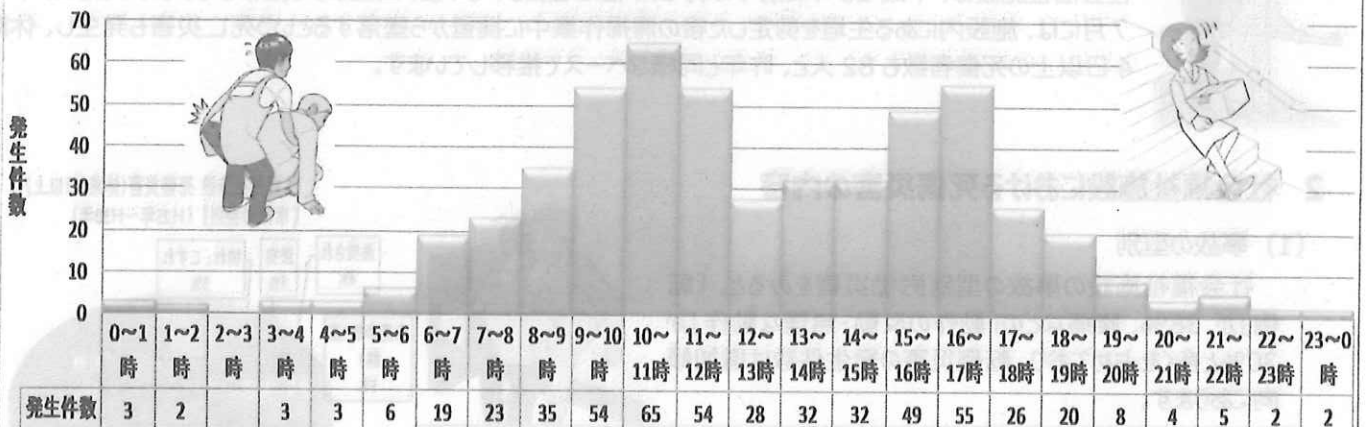
資料出所 労働者死傷病報告

曜日別でみると、月曜日に92人と最も多く被災しています。また、火曜日から木曜日にかけて徐々に被災者が減っていく傾向にあります。



(6) 発生時間別

社会福祉施設 死傷災害(休業4日以上)
【発生時間別】(H25年~H30年)



資料出所 労働者死傷病報告

発生時間別でみると、9時から12時までの午前中に労働災害が多発しています。また、午後は終業時間帯に近づくにつれて増加傾向にあります。始業直後の時間帯（8時台）や昼の休憩明け直後の時間帯（13時台前後）の労働災害は全体からすると比較的少ない状況です。

(7) 死亡災害発生状況

【墜落災害】

社会福祉施設と道路との境界付近に設置された高さ約3.75mのコンクリート擁壁の頂上部で被災者は清掃作業を行っていたところ、道路面に墜落した。被災者は保護帽及び安全帯を着用していなかった。



厚生労働省では、ホームページで下記の安全衛生リーフレットを公開していますのでご活用ください。

- 社会福祉施設における危険の「見える化」
<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000069511.html>
- 社会福祉施設における安全衛生対策 ～腰痛対策・KY活動～
<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000075093.html>
- 高齢者介護施設における雇い入れ時の安全衛生教育マニュアル
<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000153896.html>

